

# 国土審議会第12回 半島振興対策部会

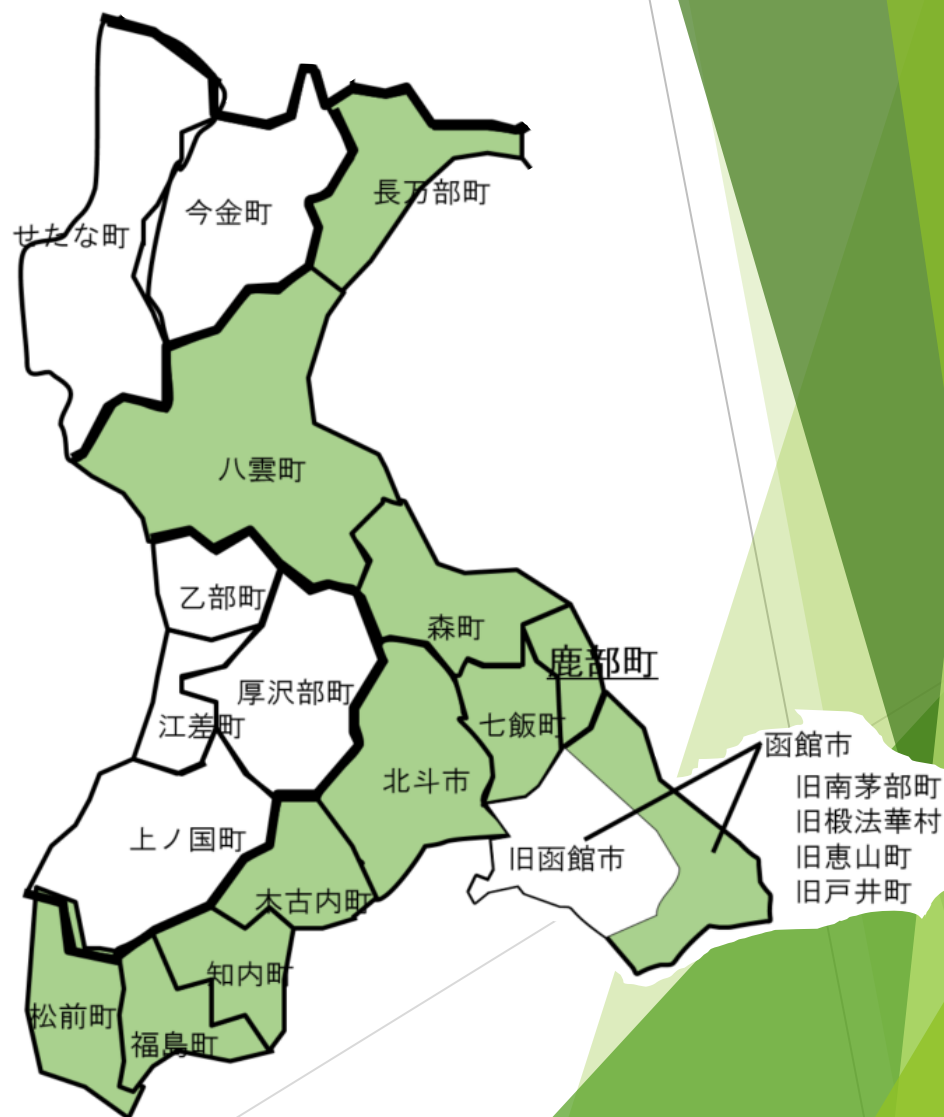
北海道せたな町

令和5年11月21日

# 渡島半島（渡島地域）の現状及び概要

市町村名	面積	人口
函館市	677km <sup>2</sup>	242,467人
北斗市	397km <sup>2</sup>	44,087人
七飯町	216km <sup>2</sup>	27,820人
鹿部町	110km <sup>2</sup>	3,601人
森町	368km <sup>2</sup>	14,017人
松前町	293km <sup>2</sup>	6,133人
木古内町	221km <sup>2</sup>	3,671人
知内町	196km <sup>2</sup>	3,957人
福島町	187km <sup>2</sup>	3,514人
八雲町	956km <sup>2</sup>	14,913人
長万部町	310km <sup>2</sup>	4,867人
渡島管内計	3,931km <sup>2</sup>	369,047人

※ 国土地理協会・国土地理院HPより引用



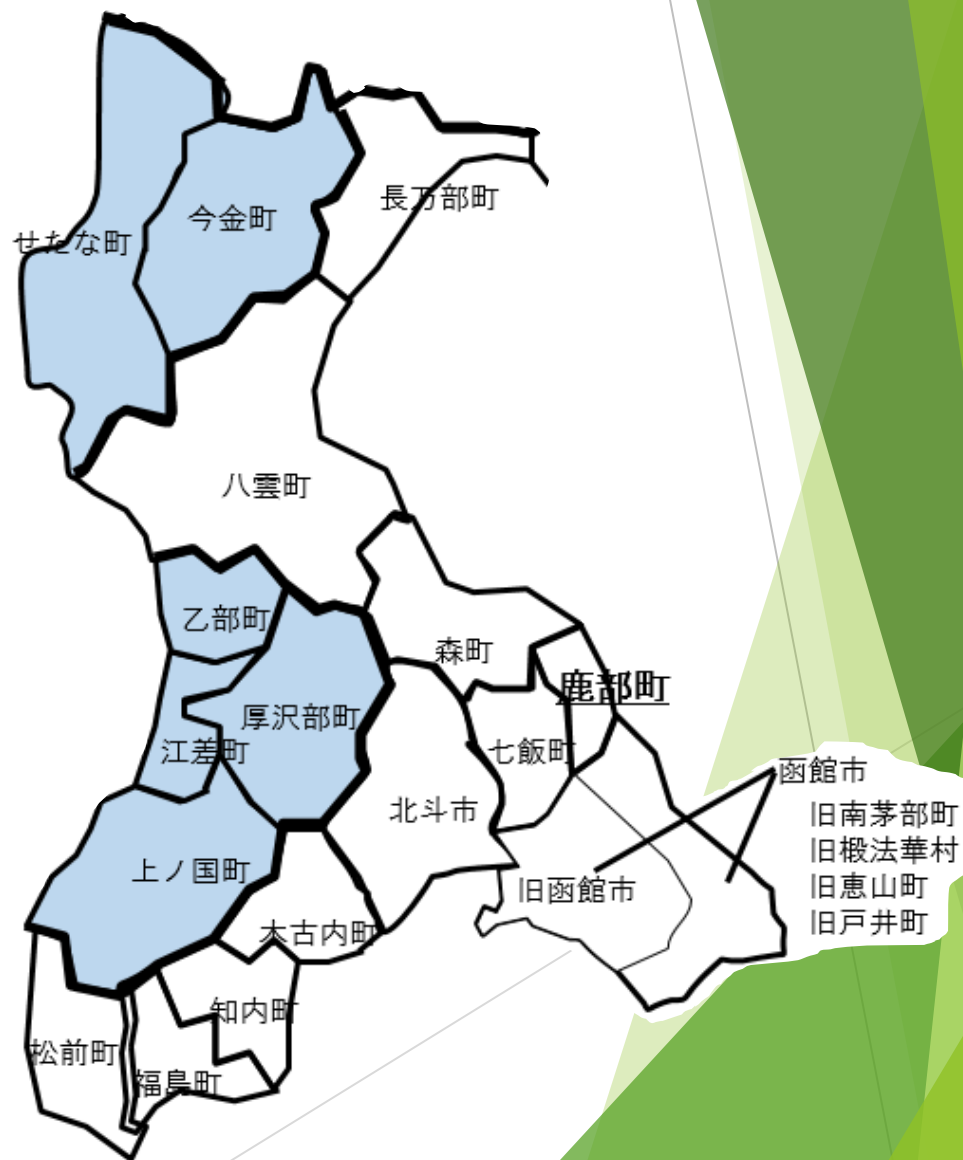
# 渡島半島（渡島地域）の現状及び概要 その2

- 函館市を含む2市9町で構成
- 400kmに及ぶ長い海岸線を有することが特徴
- 第一次産業が盛んである
- 地域ごとと特色のある農業生産を展開
- 水産業については漁船漁業や採介藻漁業、養殖など多様な漁業を展開

# 渡島半島（檜山地域）の現状及び概要

市町村名	面積	人口
江差町	109km <sup>2</sup>	6,874人
上ノ国町	547km <sup>2</sup>	4,321人
厚沢部町	460km <sup>2</sup>	3,463人
乙部町	162km <sup>2</sup>	3,299人
今金町	568km <sup>2</sup>	4,714人
<b>せたな町</b>	<b>638km<sup>2</sup></b>	<b>7,060人</b>
檜山管内計	2,484km <sup>2</sup>	29,731人

※ 国土地理協会・国土地理院HPより引用



# 渡島半島（檜山地域）の現状及び概要 その2

- 
- せたな町を含む6町で構成
  - 第一次産業が盛んである
  - バラエティーに富んだ多様な農業生産を展開
  - 水産業については歴史が深く、ニシン漁で栄えた歴史がある

# 渡島半島の課題

# 人口減少の状況

自治体名	2015年	2020年	増減数	増減率
函館市	265,979	251,084	▲ 14895	-5.6%
北斗市	46,390	44,302	▲ 2088	-4.5%
松前町	7,337	6,260	▲ 1077	-14.7%
福島町	4,422	3,794	▲ 628	-14.2%
知内町	4,653	4,167	▲ 486	-10.4%
木古内町	4,547	3,832	▲ 715	-15.7%
七飯町	28,120	27,686	▲ 434	-1.5%
鹿部町	4,226	3,760	▲ 466	-11.0%
森町	15,946	14,338	▲ 1608	-10.1%
八雲町	17,252	15,826	▲ 1426	-8.3%
長万部町	5,926	5,109	▲ 817	-13.8%
渡島計	404,798	380,158	▲ 24640	-6.1%

自治体名	2015年	2020年	増減数	増減率
江差町	8,248	7,428	▲ 820	-9.9%
上ノ国町	4,876	4,306	▲ 570	-11.7%
厚沢部町	4,049	3,592	▲ 457	-11.3%
乙部町	3,906	3,403	▲ 503	-12.9%
今金町	5,628	5,072	▲ 556	-9.9%
せたな町	8,473	7,398	▲ 1075	-12.7%
檜山計	35,180	31,199	▲ 3981	-11.3%

※ 国勢調査より引用

# 渡島半島が抱える課題

## 交通利便性

都市部への  
アクセス

三方を海で  
囲まれた地勢

運転手等の不足

## 過疎化・高齢化

空き家の増加

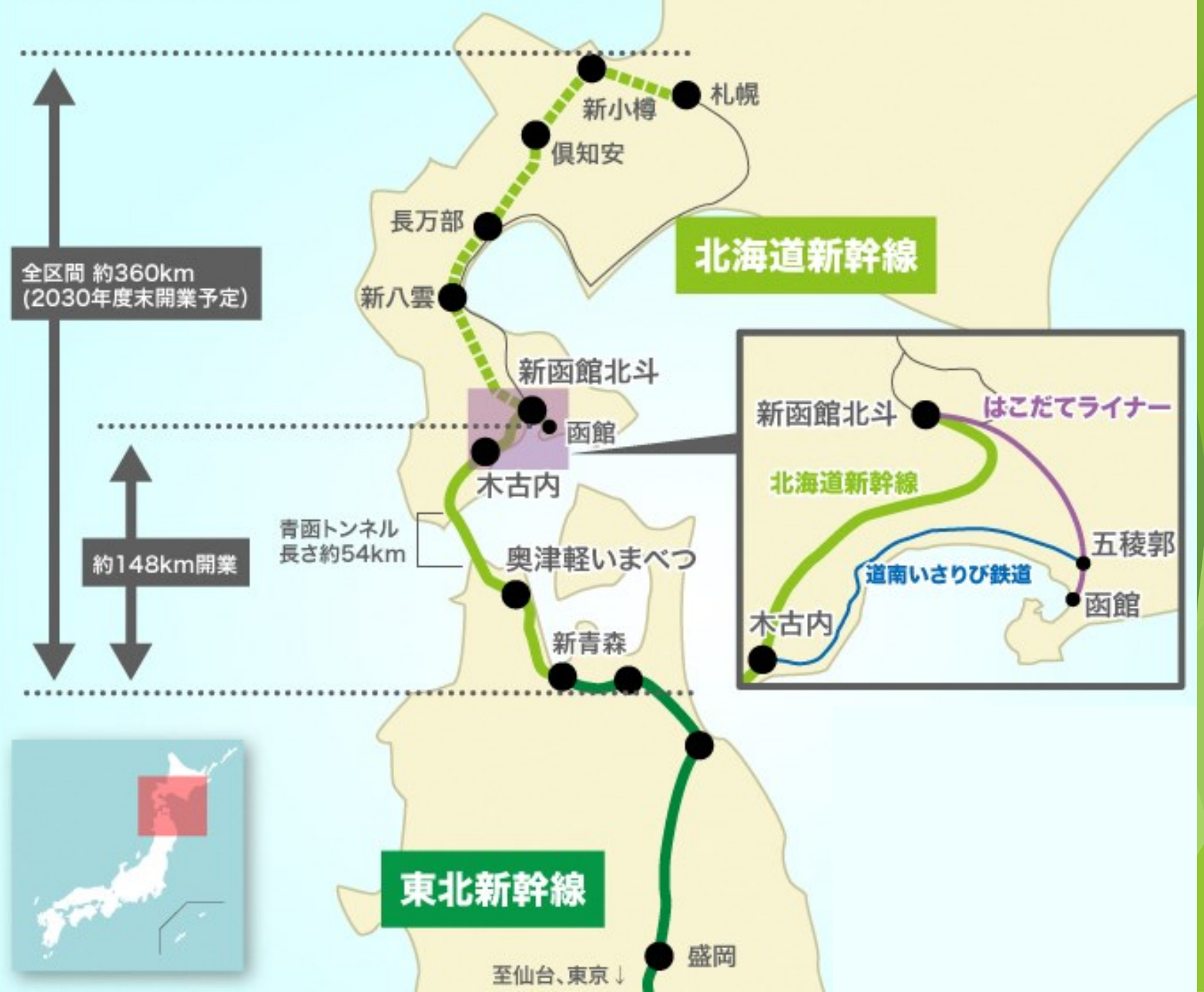
医療費等の増加

医療・介護の  
担い手不足



# 新幹線

北海道新幹線路線図



# 高規格道路

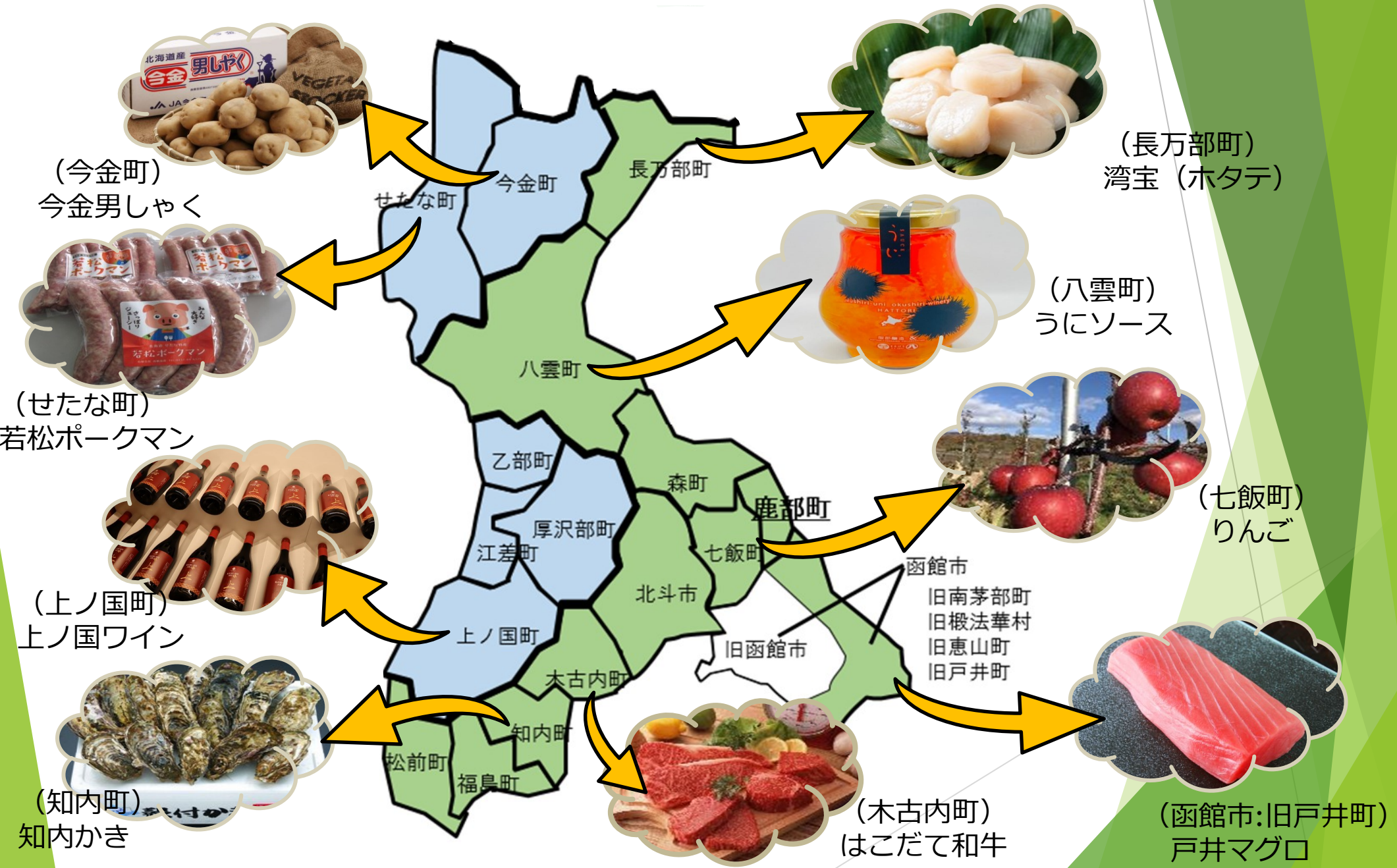


# 高規格道路



# 渡島半島の取り組み

# 半島地域資源のP R



# 広域連携促進事業



## ▶ 渡島地域半島振興広域連携促進事業（定住促進事業）

- ・ 2町連携婚活イベント事業（平成28年～平成30年）  
半島地域外から女性を呼び込み人口増加を図った。



- ・ 2町連携移住定住促進事業（令和元年度～4年度）  
半島地域外での町のPR、移住ツアー及び体験を実施し、  
知名度の向上・人口増加を図った。

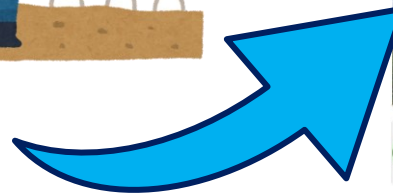
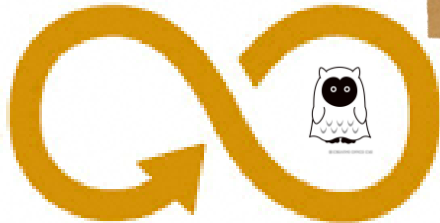


# ▶ 特産品開発事業 (産業振興事業)

## 新たな持続可能な特産品を開発予定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ほっかいどう せたなちょう  
北海道 せたな町

オンラインワンストップ:自治体マイページ

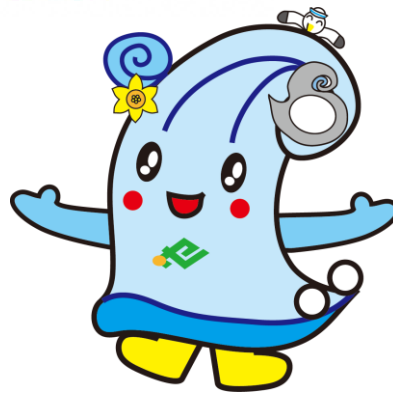
♡ 自治体をお気に入り



ほっかいどう いまかねちょう  
北海道 今金町

オンラインワンストップ:自治体マイページ

♡ 自治体をお気に入り



# 洋上風力 ゼロカーボンシティの推進



北海道せたな町長 高橋 貞光 殿

貴町におかれましては、この度、地方公共団体として2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指すことを表明されました。

今回の貴町の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で613地方公共団体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、地球温暖化の進行に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている気候変動問題に対処するため、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

現在、政府としては、2050年カーボンニュートラルや2030年度46パーセント排出削減目標の達成に向け、再生可能エネルギーの最大限の導入などを掲げ、我が国の成長戦略の柱の一つとしていただいております。

環境省としても、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への3つの移行を推進し、今までの延長線上ではない、社会全体の行動変容を図ってまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間が重要です。このため、地域脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を進めていく必要があります。貴町及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、地域脱炭素の更なる具体化・加速化を進めてまいります。

環境大臣 山口 壯



# 地域課題の解決に向けて

## 渡島半島地域の主な課題

### 交通利便性

- 三方を海に囲まれる地理的条件
- 広大な道内では都市部から遠隔
- 運転手不足への懸念

### 過疎化、高齢化の進行

- 医療・介護などの専門職の不足
- 医療費などの増加
- 空き地、空き家の増加

## 半島地域に住み続け、安定した暮らしを送るために

- ◎ 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の早期完成・開通
- ◎ 高規格道路の着実な整備推進
- ◎ 高齢者等の交通手段の確保 など

- ◎ 医療従事者の確保など医療体制の強化
- ◎ 地域間交流、移住・定住の促進
- ◎ 産業振興（特産品開発、販路拡大等）など

令和6年度末に期限を迎える**半島振興法の延長と関連施策のさらなる充実**に特段のご配慮をお願いします。



ご清聴ありがとうございました



ぜひ渡島半島へおこしく下さい

